

# 2022 年度一般社団法人日本ゴールボール協会事業報告

## 1. 大会関係事業

(目的)

日本国内におけるゴールボール競技の普及振興と競技力向上のため、競技大会を開催し、育成強化を図った。

### 【主要大会】

◆MONEY DOCTOR 2022 日本ゴールボール選手権大会 男子予選大会

日程：2022 年 7 月 30 日（土）・31 日（日）

会場：所沢市民体育館（埼玉県）

〒359-0042 埼玉県所沢市並木 5-3

参加チーム数：11 チーム

備考：2 コート

◆MONEY DOCTOR 2022 日本ゴールボール選手権大会 女子予選大会

日程：2022 年 8 月 13 日（土）・14 日（日）

会場：福岡市総合体育館・照葉積水ハウスアリーナ（福岡県）

〒813-0017 福岡県福岡市東区香椎照葉 5 丁目 1-1

参加チーム数：5 チーム

備考：1 コート

◆MONEY DOCTOR 2022 日本ゴールボール選手権大会

日程：2022 年 11 月 26 日（土）・27 日（日）

会場：新宿スポーツセンター（東京都）

〒169-0072 東京都新宿区大久保 3-5-1

参加チーム：男子 6 チーム・女子 5 チーム

※それぞれの予選を勝ち抜いた上位チームが参加

### 【共催大会】

◆2023 ジャパンパラゴールボール競技大会（JPSA 主催）

日程：2023 年 3 月 11 日(土)～12 日(日)

会場：アリーナ立川立飛（東京都立川市）  
〒190-0015 東京都立川市泉町5 0 0 - 4  
参加チーム数：女子4チーム

### 【オフィシャルクリニック】

#### ◆男子予選大会 オフィシャルクリニック

日時：2022年6月19日（日）

会場：所沢市民体育館（埼玉県）

〒359-0042 埼玉県所沢市並木5-3

備考：練習会と合同開催

※19名受講。

#### ◆女子予選大会 オフィシャルクリニック

日時：2022年7月3日（日）

会場：福岡市総合体育館・照葉積水ハウスアリーナ（福岡県）

〒813-0017 福岡県福岡市東区香椎照葉5丁目1-1

備考：練習会と合同開催

※19名受講。

#### ◆日本ゴールボール選手権大会 オフィシャルクリニック

日時：2022年11月6日（日）

会場：新宿スポーツセンター（東京都）

〒169-0072 東京都新宿区大久保3-5-1

備考：練習会と合同開催

※31名受講。

### 【国内レフェリークリニック】

#### ◆男子予選大会 国内レフェリークリニック（講義・実技講習）

日程：2022年6月18日（土）・19日（日）

会場：所沢市民体育館（埼玉県）

〒359-0042 埼玉県所沢市並木5-3

備考：男子予選オフィシャルクリニックと合同開催

※新任5名、現任1名受講。

#### ◆女子予選大会 国内レフェリークリニック（講義・実技講習）

日程：2022年7月2日（土）・3日（日）

会場：福岡市総合体育館・照葉積水ハウスアリーナ（福岡県）

〒813-0017 福岡県福岡市東区香椎照葉5丁目1-1

備考：女子予選オフィシャルクリニックと合同開催

※申込がなかったため、開催を見送りました。

◆日本ゴールボール選手権大会 国内レフェリークリニック（講義・実技講習）

日程：2022年11月5日（土）・6日（日）

会場：新宿スポーツセンター（東京都）

〒169-0072 東京都新宿区大久保3-5-1

備考：日本ゴールボール選手権オフィシャルクリニックと合同開催

※新任6名、現任10名受講。

【国際レフェリークリニック】

日程：2022年8月11日～14日（講義・実技試験）

会場：福岡市総合体育館・照葉積水ハウスアリーナ（福岡県）

〒813-0017 福岡県福岡市東区香椎照葉5丁目1-1

備考：女子予選大会と合同開催

※3名再認定。

【大会運営（ボランティア・コーディネーション）】

日本ゴールボール選手権大会より、これまで一括して募集していた大会ボランティアを「競技運営ボランティア（オフィシャル）」と「大会運営ボランティア」の2種に見直しし、大会運営ボランティアはオフィシャルクリニックへの参加を任意にしました。

ボランティア説明会（オンライン）：3回実施し、計93名参加

当日ボランティア参加（2日間）：76名参加（競技運営44名、大会運営32名）

ボランティアマニュアルを作成し、今後のボランティア・コーディネーションの基盤をつくりました。大会後にはボランティアアンケートを行い85%が活動内容に満足している一方で、今後改善できる指摘も多数いただきました。

【国際大会レフェリー参加状況】

- ① 2022 ASEAN Para Games 7月31日～8月6日
- ② 2022 Goalball Nations Cup 10月7日～9日
- ③ VGC Grand Slam 2023 3月10日～12日

## 2. 強化合宿等開催事業

### 《2022年》

- ① 4月16日（土）～24日（日）NTC イースト
- ② 4月29日（金）～5月5日（日）NTC イースト
  - \*女子チーム：4月29日（金）～5月2日（月）
  - \*男子チーム：4月29日（金）～5月5日（木・祝）

#### 【マルモ大会：Malmo Lady Intercup 2022（女子）】

会場：マルモ（スウェーデン）

日程：5月6日（金）～8日（日）

※5月3日（火）出国～5月10日（火）帰国

- ③ 5月21日（土）～6月5日（日）NTC イースト
- ④ 6月18日（土）～26日（日）NTC イースト
- ⑤ 7月9日（土）～13日（水）NTC イースト

#### 【アンカラカップ：GOALBALL ANKARA CUP 2022（男女）】

会場：アンカラ（トルコ）

日程：7月14日（木）～20日（水）

※女子チーム：7月13日（水）出国～21日（木）帰国

※男子チーム：7月13日（水）出国～21日（木）バーレーン王国へ移動

#### 【2022 Asia Pacific Championships（男子）】

会場：マナマ（バーレーン王国）

日程：7月21日（木）～7月31日（日）

※男子チーム：7月21日（木）トルコよりバーレーン王国へ入国～8月1日（月）帰国

#### 【MONEY DOCTOR 2022 日本ゴールボール選手権大会 男子予選大会】

会場：所沢市民体育館（埼玉県）

日程：7月30日（土）～31日（日）強化委員会視察

#### 【MONEY DOCTOR 2022 日本ゴールボール選手権大会 女子予選大会】

会場：福岡市総合体育館・照葉積水ハウスアリーナ（福岡県）

日程：8月13日（土）～14日（日）強化委員会視察

- ⑥ 8月20日(土)～28日(日) NTC イースト
- ⑦ 9月17日(土)～21日(水) NTC イースト
- ⑧ 10月1日(土)～8日(土) NTC イースト
- ⑨ 10月24日(月)～31日(月) NTC イースト
- ⑩ 11月7日(月)～13日(日) NTC イースト

**【MONEY DOCTOR 2022 日本ゴールボール選手権大会】**

会場：新宿スポーツセンター（東京都）

日程：11月26日(土)～27日(日) 強化委員会視察

- ⑪ 11月28日(月)～12月4日(日) NTC イースト

**【世界選手権：IBSA Goalball World Championship 2022（男女）】**

会場：ポルト（ポルトガル）

日程：12月5日(月)～16日(金)

※12月3日(土) 出国～18日(日) 帰国

- ⑫ 12月24日(土)～28日(水) NTC イースト

**《2023年》**

- ⑬ 1月7日(土)～15日(日) NTC イースト
- ⑭ 2月4日(土)～12日(日) NTC イースト
- ⑮ 2月23日(木)～26日(日) NTC イースト
- ⑯ 3月4日(土)～8日(水) NTC イースト

**【2023 ジャパンパラゴールボール競技大会：(男女)】**

会場：アリーナ立川立飛（東京都）

日程：3月11日(土)～12日(日) 強化委員会視察

- ⑰ 3月18日(土)～26日(日) NTC イースト

### 3. 技術部

(目的)

視覚特別支援学校や障害者スポーツ関連機関等と連携し、国内でゴールボール競技の普及と振興を推進するため、当協会独自の取り組みとして、地域での体験会や普及大会等の機会を設け、障害者スポーツへの一層の理解と普及・啓発を図る。

また、初心者向けのチャレンジ大会を各地域で実施し、障害の有無に関係なく交流を図った。

#### (1) 盲学校体育連盟との連携事業

日程：2023年1月15日(日) 会場：山口県身体障害者福祉センター

<下関南総合支援学校生徒6名・教職員・視能訓練士・民間施設職員・行政の方若干名参加>

日程：2023年1月23日(月) 会場：東京都立葛飾盲学校

<視覚障害に加え、身体・知的障害を重複する生徒17名・教職員6名参加>

#### (2) ゴールボールキャンプ

日程：2022年12月17日(土)～18日(日) 会場：岐阜県福祉友愛アリーナ

<盲学校体育連盟を通して、佐賀・福岡・兵庫・大阪・石川・名古屋からの生徒12名、引率教員9名参加>

#### (3) 2022チャレンジゴールボール大会 Supported by 日本郵便

◎2022チャレンジゴールボール九州大会 Supported by 日本郵便

日程：2022年6月5日(日) 会場：熊本県南関町 B&G 海洋センター

<8チーム 38名参加>

◎2022チャレンジゴールボール北信越大会 Supported by 日本郵便

日程：2022年7月3日(日) 会場：金沢市総合体育館

<8チーム 30名参加>

◎2022チャレンジゴールボール北海道・東北大会 Supported by 日本郵便

日程：2022年7月10日(日) 会場：多賀城市総合体育館

<8チーム 34名参加>

◎2022チャレンジゴールボール関東大会 Supported by 日本郵便

日程：2022年10月8日（土） 会場：つくば市桜総合体育館  
<16チーム 67名参加>

◎2022チャレンジゴールボール近畿大会 Supported by 日本郵便  
日程：2022年10月30日（日） 会場：大阪市舞洲障がい者スポーツセンター  
<14チーム 56名参加>

◎2022チャレンジゴールボール中国大会 Supported by 日本郵便  
日程：2022年11月13日（日） 会場：邑南町健康センター元気館  
<6チーム 28名参加>

◎2022チャレンジゴールボール四国大会 Supported by 日本郵便  
日程：2023年1月29日（日） 会場：愛媛県障害者福祉センター  
<8チーム 38名参加>

◎2022チャレンジゴールボール東海大会 Supported by 日本郵便  
日程：2023年2月12日（土） 会場：岐阜県福祉友愛アリーナ  
<9チーム 37名参加>

#### （4）体験会協力

◎「TOKYO パラスポーツ月間 パラスポーツイベント」主催：東京都 運営統括：ニッポン放送プロジェクト  
日程：2022年8月20日（土）駒沢オリンピック公園 中央広場  
<選手・スタッフ対応>

◎「パラリンピック競技体験授業」 依頼：新宿区教育委員会  
日程：2022年 9月 5日（月） 会場：落合第5小学校  
日程：2022年 9月 9日（金） 会場：西新宿小学校  
日程：2022年 9月27日（火） 会場：江戸川小学校  
日程：2022年10月28日（金） 会場：余丁町小学校  
日程：2022年11月 1日（火） 会場：早稲田小学校  
<選手・スタッフ対応>

◎「子供を笑顔にするプロジェクト」 主催：東京都 運営統括：ニッポン放送プロジェクト  
日程：2022年 9月14日（水） 会場：世田谷区千歳小学校  
日程：2022年10月18日（火） 会場：中野区北原小学校  
日程：2022年11月18日（金） 会場：葛飾区西亀有小学校

日程：2023年 1月26日（木） 会場：品川区城南小学校  
日程：2023年 1月30日（月） 会場：台東区金竜小学校  
日程：2023年 2月17日（金） 会場：練馬区南町小学校  
日程：2023年 2月21日（火） 会場：江戸川区東葛西小学校  
日程：2023年 2月24日（金） 会場：羽村市羽村第一中学校  
<選手・スタッフ対応>

◎「ふれあい市民運動会」 TEAM BEYOND パラスポーツ体験会  
日程：2022年9月25日（日）  
会場：東大和市ロンドみんなの体育館  
<選手対応>

◎「パラスポーツ体験会」 依頼：北本市スポーツ協会（埼玉県）  
日程：2022年10月10日（月・祝）  
会場：北本市体育センター  
<スタッフ対応>

◎「さいたま市桜区区民まつり ゴールボール体験会」 主催：桜区区民まつり実行委員会  
日程：2022年10月15日（土）  
会場：サイデン化学アリーナ  
<NHK ニュースにて放送> <選手・スタッフ対応>

◎「ゴールボール体験会」 東京都体育健康教育推進校事業として  
日程：2022年11月14日（月）  
依頼・会場：足立区立足立小学校（弱視通級指導学級）  
<選手対応>

◎「パラスポーツ体験」 主催：アシックススポーツファシリティーズ（株）  
日程：2022年12月29日（木）  
会場：新宿スポーツセンター  
<選手・スタッフ対応>

## （5）講演会協力

◎「講演会」 依頼：中国・四国地区盲学校PTA連合会並びに合同研究協議会  
日程：2022年 5月17日（火）  
内容：「盲学校の保護者向けに、これまでの進路選択の歩みと現在の状況、これからについて」  
オンラインにて：広島県立広島中央特別支援学校



<選手対応>

◎「ロータリークラブとの卓話」 東京武蔵府中ロータリークラブ

日程：2022年 5月20日（金）

内容：「パラリンピック出場の報告と今後の目標について」

<選手対応>

◎「JPSA パートナースミーティング」 主催：日本パラスポーツ協会

日程：2023年2月9日（木）

会場：ロイヤルパークホテル

内容：「折れない心を育むメッセージ～パラスポーツを通じて未来へ繋ぐ～」

<選手対応>

## （6）パートナー企業権益

◎（株）SMB C信託銀行 新人社員研修

日程：2022年4月28日（木）

会場：（株）SMB C日比谷研修所

内容：「視覚障がい者に対するマナーとゴールボール」講演と実技

<選手・スタッフ対応>

◎（株）SMB C信託銀行 社内研修会

日程：2022年10月4日（火）

会場：BumB 体育館

内容：ゴールボール体験

<選手・スタッフ対応>

◎（株）FP パートナー社内講演会

日程：2023年3月13日（月）

会場：（株）FP パートナー

内容：テーマ1. 「ゴールボールに関して（始めたきっかけ・魅力・学んだこと・日常に活かしていること・日本代表として）」

テーマ2. マネドク選手権とは？

テーマ3. 将来の夢&ライフプラン

<選手対応>

## 4. 広報・マーケティング部

“ゴールボールを観る”を増やす場面では「静寂の中の格闘技」「音の騙し合い」、 “ゴールボールをす”を増やす場面では視覚障害者と晴眼者が同じチームでプレーする「インクルーシブ・スポーツ」、チームビルディングにもなる「コミュニケーション・スポーツ」という魅力を意識的に伝えた。また、中・長期基本計画を見直し 2028 年に実現したい姿を数値で表現できたが、2024 年に控える日本ゴールボール協会設立 30 周年に向けた準備には着手できなかった。

### I. 広報活動

ソーシャルメディアやウェブサイトを通じて、選手、指導者、会員、パートナー企業、報道機関などのステークホルダーとのコミュニケーションを推進した。

#### ゴールボール競技の魅力の明確化

月刊ゴールボールマガジンは月 1 回継続的・定期的に配信することで、メディアとして信頼性を高めることができた。ソーシャルメディアやウェブサイトは随時更新し、タイムリーな情報発信を行うことができた。その結果、ツイッター、インスタグラム、フェイスブックでフォロワー数が増加した。プレスリリースを 30 件配信し、31 件の露出があった。競技概要動画の作成はできなかったが、ソーシャルメディアで動画を投稿し好評を得た。

#### 月刊ゴールボールマガジン登録数（2022 年 4 月／2023 年 3 月）

375 通／397 通（22 名増、増加率 106%）

平均開封率：56.9%

#### JGBA 公式ウェブサイト（2022 年 4 月～2023 年 3 月）

ユーザー数：38,538 名

閲覧（PV）数：177,462

滞在時間：平均 2 分 50 秒

#### SNS フォロワー数（2022 年 4 月／2023 年 3 月）

ツイッター 1,187 名／1,365 名（178 名増、増加率 115%）

インスタグラム 745 名／964 名（219 名増、増加率 129%）

フェイスブック 2,338 名／2,419 名（81 名増、増加率 103%）

YouTube 493 名／595 名（102 名増、増加率 121%）

## ゴールボール競技の価値向上

日本ゴールボール選手権大会の YouTube ライブ配信は、JGBA 公式チャンネルでは実施できなかったが、本戦大会のみ TOKYO パラスポーツチャンネルでライブ配信と J:COM のライブ中継が実施できた。YouTube アーカイブ配信の視聴を呼び掛ける目的で、ポスターを全国の障害者スポーツ協会や盲学校に配布し、ゴールボール競技を伝えた。クラブチームから要望があったチラシを新規に作成し、来場と観戦を広く呼び掛けることができた。大会公式プログラムの構成を見直し、競技紹介とチーム紹介の充実を図った。チャレンジゴールボール大会は 8 大会のうち 7 大会でプレスリリースを配信し、参加者募集を行ったと同時に、九州大会での取材獲得をした。日本ゴールボール選手権大会とチャレンジゴールボール大会の特設ウェブサイトの新設し、2023 年度以降の情報発信の基盤を整えた。

## 個人支援者の獲得

正会員向けの入会特典を作成・配布をはじめたところ、正会員が 18 名増え、103 名になった。会員数は、個人賛助会員（109 名）・団体賛助会員（1 団体）と合わせて 213 名となっている。2023 年 2 月からクレジットカード決済プラットフォームに参加し、個人寄付の呼びかけを始めた。物品寄付プログラムは 2022 年度中に実現できなかったが、2023 年 4 月には開始する予定で準備が進んでいる。個人寄付や寄付つき商品に関する取り組みを辛抱強く継続し、協会の財源の多様化、安定的で柔軟な運営に貢献していく。

## ゴールボール日本代表の価値向上

ゴールボール日本代表「オリオン JAPAN」のロゴを制作し、ロゴの商標登録も完了した。また、ロゴの完成はウェブサイトやプレスリリースで広く発信し、2 件が掲載につながった。月刊ゴールボールマガジンなどでオリオン JAPAN が出場したアジアパシフィック選手権や世界選手権、ジャパンパラゴールボール競技大会などの大会結果や試合結果、強化合宿を丁寧に発信した。世界選手権に向けてリモート記者会見を、14 名が申込、10 名が出席し開催した。

## II. マーケティング活動

### マーケティング体制の整備・強化

助成金を財源にして非常勤職員を採用してマーケティング体制を強化し、マーケティング戦略の立案に必要な準備を行った。その結果、戦略立案上の課題を明らかにすることができた。また、広報・マーケティング部内に主として大学生・大学院生で構成するイノベーション推進室を設置した。イノベーション推進室が世界選手権壮行会を企画・実施し、パリパラリンピック出場権獲得に向けた機運を盛り上げた。

## オフィシャル・パートナー・プログラム参画企業へのフォローアップ

オフィシャル・パートナー・プログラム参画企業とのパートナーミーティングを定期的に開催（4回開催）した。パートナーミーティングでは、最新の活動報告、権益活用に関する説明、日本代表強化宿オンライン見学などを行い、パートナー企業の満足度向上に努めた。社内体験会、研修や講演の講師などの権益活用の依頼を丁寧に対応した。世界選手権に向けたリモート記者会見にはパートナー企業や選手所属企業、選手家族にも参加を呼びかけ、ゴールボール日本代表の活動を理解してもらう機会にした。しかし、パートナー企業の経営体制の変更などで2023年度に向けた契約更新が2社（400万円）で実現しなかった。

## 新規オフィシャル・パートナー・プログラム参画企業の獲得

新規オフィシャル・パートナー・プログラム参画企業を獲得するために、お問い合わせに丁寧に対応することができた。東京2020パラリンピック大会協賛社や経団連や経済同友会を通じたアプローチは実現しなかったが、日本代表強化指定選手が所属する企業や日本代表強化指定選手から紹介があった企業にアプローチすることができた。新規オフィシャル・パートナー・プログラム参画企業は、2022年度前半に2社の新規サプライヤーを獲得し、2023年度前半の新規サプライヤー契約に向けて2社と交渉している。

参画しやすい価格帯メニューとして、チャレンジゴールボール大会の大会シングルプラン（20万円）を2023年度に向けて開始したほか、選手応援プランなどを検討した。また、自治体との関係性を強化するために「地方自治体・教育機関向け参画プログラム」（アソシエイトプログラム）を検討した。

### 【参考】メディア掲載

- ・ 2022.6.7（熊本日日新聞）「音に集中 ゴールボール」（チャレンジゴールボール九州大会 Supported by 日本郵便）
- ・ 2022.6.7（読売新聞・夕刊）「ゴールボール 代表に新ロゴ」
- ・ 2022.7.7（点字毎日）「ゴールボール 代表ロゴ決定」
- ・ 2022年9月号（毎日フォーラム）「アジア・太平洋で初優勝 12月の世界選手権へ」
- ・ 2022.10.9（読売新聞）「4度目の挑戦 主力で『金』を」（欠端英子選手インタビュー）
- ・ 2022.10.2（BS日テレ）ストロングポイントクロス（萩原紀佳選手紹介）
- ・ 2022.10.16（NHKWeb）パラリンピック出場選手とゴールボール体験会 さいたま市
- ・ 2022.11.28（BS日テレ）ストロングポイントクロス（宮食行次選手紹介）
- ・ 2022.12.10/2022.12.17（TBSラジオ）井上貴博 土曜日の「あ」「池崎大輔 パラスポーツの『あ』」コーナー（萩原紀佳選手インタビュー）
- ・ 2022.11.30（パラサポWEB）「3年ぶりの日本ゴールボール選手権大会 女子はチーム附属、男子は Spread Wings が日本一に！」

- ・ 2022.12.2 (パラフォト)「『MONEY DOCTOR 2022 日本ゴールボール選手権大会』女子はチーム附属、男子は Spread Wings が優勝！」
- ・ 2022.12.7 (パラスポプラス)「2022 IBSA ゴールボール世界選手権プレビュー ゴールボール日本代表「オリオン JAPAN」、パリ 2024 出場権をかけポルトガルで世界選手権に挑む！」
- ・ 2022.12.7 (パラサポ WEB)「パリ切符のかかる世界選手権に挑む ゴールボール男女日本代表「オリオン JAPAN」」
- ・ 2022.12.9 (ノーボーダー)「ゴールボール世界選手権開幕。日本代表「オリオン JAPAN」、男女ともに初戦白星発進！」
- ・ 2022.12.15 (サンスポウェブ)「日本男女、パラ出場権逃す ゴールボール世界選手権」
- ・ 2022.12.30 (パラスポプラス)「2022 IBSA ゴールボール世界選手権 世界選手権はベスト 8。惜敗で「パリ」獲得ならず。ゴールボール日本代表「オリオン JAPAN」女子、さらなる成長を誓う」
- ・ 2023.1.6 (パラスポプラス)「2022 IBSA ゴールボール世界選手権大奮闘のオリオン JAPAN 男子は過去最高ながら 6 位。悔しさをバネにさらなる飛躍を誓う」
- ・ 2023.3.9 (NHK 総合)おはよう日本 おは SPOT (萩原選手紹介)
- ・ 2023.3.12 (NHK 総合)「ゴールボール 女子日本代表 東京パラ銀メダルのアメ리카に勝利」
- ・ 2023.3.12 (日本経済新聞)「ゴールボール女子、日本は全勝で準決勝へ ジャパンパラ」
- ・ 2023.3.12 (サンスポウェブ)「日本、全勝で準決勝へ ゴールボール女子国際大会」
- ・ 2023.3.12 (読売新聞)「ゴールボール女子のジャパンパラ競技大会が開幕、日本が 3 連勝」
- ・ 2023.3.12 (MA SPORTS)「【ジャパンパラ】ゴールボール女子日本代表が強豪下し、完全優勝！」
- ・ 2023.3.13 (共同通信ウェブ)「日本、米国に快勝して優勝 ゴールボール国際大会」
- ・ 2023.3.13 (日本経済新聞ウェブ)「ゴールボール、日本がジャパンパラ制す 米に快勝」
- ・ 2023.3.13 (読売新聞)「日本全勝 V ゴールボール女子ジャパンパラ」
- ・ 2023.3.13 (読売新聞ウェブ)「ゴールボールのジャパンパラ大会、日本が米国下し優勝…萩原紀佳「うれしいメダル」」
- ・ 2023.3.13 (NHKWeb)「ゴールボール国際大会 女子日本代表が強豪アメリカ破って優勝」
- ・ 2023.3.13 (読売新聞ウェブ)「目指せパリでも金」
- ・ 2023.3.15 (パラサポ WEB)「ジャパンパラで全勝優勝！ 新しいスパイスで、チーム力の底上げを図る女子ゴールボール日本代表」
- ・ 2023.3.28 (読売新聞)「キラリ Paris 底上げへ 1メートル 75 超新星 (ゴールボール女子・新井みなみ)」

## 5. 会議開催

### ◎総会

2022年5月22日（日）2021年度事業報告決算・2022年度事業計画予算  
会場：ナショナルトレーニングセンターイースト内会議室及び体育館、オンライン参加

### ◎理事会 全てオンライン会議

第1回	2022年	4月16日(土)
第2回		5月14日(土)
第3回		6月11日(土)
第4回		7月16日(土)
第5回		8月 6日(土)
第6回		9月10日(土)
第7回		10月 8日(土)
第8回		11月13日(日)
第9回		12月20日(火)
第10回	2023年	1月15日(日)
第11回		2月18日(土)
第12回		3月11日(土)

### ◎臨時理事会 オンライン会議

第1回	2022年	7月23日(土)
第2回	2023年	1月27日(金)